

3.5(H)mm、2.0mmストローク スライドスイッチ SSSS2シリーズ

■ 詳細情報

製品番号	移動量	操作部方向	操作部長さ	回路数	接点数
SSSS213202	2mm	Vertical	2mm	1	2

作動力	切換タイミング	はんだ付方法	最小梱包単位 (個)
外形図参照	Non shorting	Reflow	1,400

■ 製品仕様

使用温度範囲	最大定格 (抵抗負荷)	電気的性能		
		接触抵抗 (初期/寿命後)	絶縁抵抗	耐電圧
-10°C to +60°C	0.3A 6V DC	70mΩ max. /130mΩ max.	100MΩ min. 500V DC	500V AC for 1 min.

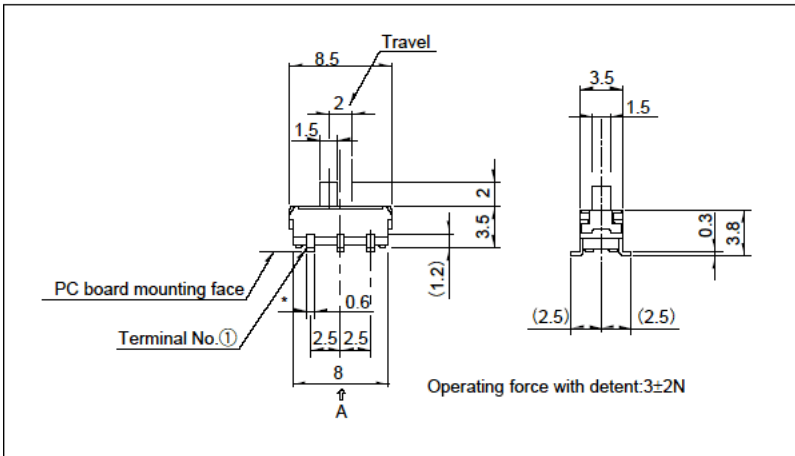
機械的性能							
端子強度	操作部強度		耐振性	はんだ付性	はんだ耐熱性		
	作動方向	引張方向			手はんだ	ディップはんだ	リフローはんだ
3N for 1 min.	20N	10N Static force	10~55~10Hz/分、 全振幅1.5mm、 X. Y. Z 3方向 各2時間	230±5°C, 3±0.5s	-	-	はんだ付条件 参照

耐久性能		耐候性		
無負荷寿命	負荷寿命 (定格負荷にて)	耐寒性	耐熱性	耐湿性
100 cycles 100mΩ max.	100 cycles 130mΩ max.	-20±2°C for 96h	85±2°C for 96h	40±2°C, 90 to 95%RH for 96h

- ご注文につきましては、最小梱包単位のN(整数)倍でいただけますようご協力をお願いいたします。
- 輸出梱包単位は別途ご相談させていただきます。
- リフロータイプは、1リール単位が最小梱包単位となります(テーピング仕様参照)。
- 製品一覧以外にも保有している製品がございますので、ご希望の際はお問い合わせ願います。

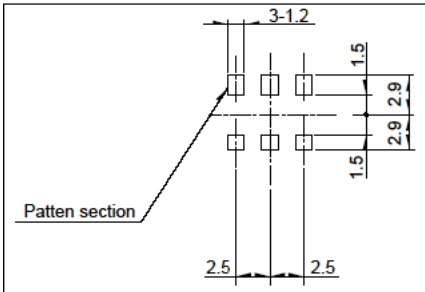
■ 操作部上出しタイプ 1-pole, 2-positions, Reflow

Unit : mm



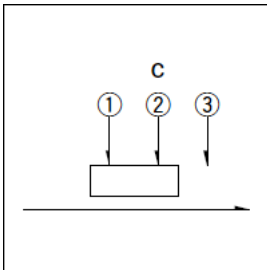
■ プリント基板取付穴寸法図(A方向より見る)

Unit : mm



■ 回路図(A方向より見る)

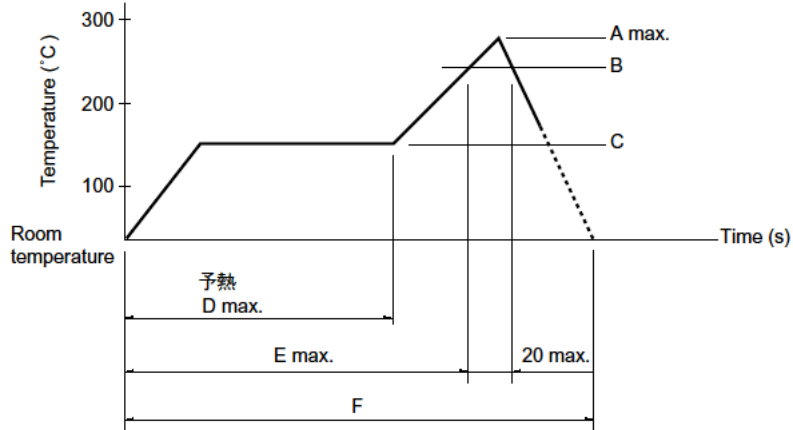
1-pole, 2-positions



■ はんだ付条件

リフロー方式の参考例

1. 加熱方式
遠赤外線加熱による上下加熱方式とする。
2. 温度測定方式
Φ0.1〜Φ0.2のCA (K) またはCC (T) を用い測定。位置ははんだ接合部(銅箔面)で測定。固定方式は耐熱テープを使用する。
3. 温度プロファイル
(1) 下記条件は、プリント基板の部品実装面上の温度です。基板の材質、大きさ、厚さなどにより基板温度とスイッチ表面温度が大きく異なる場合がありますので、スイッチ表面温度が260°C以上にならないようご注意ください。
(2) リフロー槽の種類により、多少条件が異なりますので、事前に十分確認の上ご使用してください。



Series (Reflow type)	A (#) 3s max.	B (#)	C (#)	D (s)	E (s)	F (s)
SSSS2	240	200	150	150	-	-

■ ご使用上の注意

1. 端子をはんだ付けされる場合、端子に荷重が加わりやすくと条件により、がた、変形および電気的特性劣化のおそれがありますのでご注意ください。
2. はんだ付けの際、水溶性フラックスはスイッチを腐食させるおそれがありますのでご使用はお避けください。
3. はんだ付けの条件設定については、実際の量産条件で確認されるようお願いいたします。
4. はんだ付けを2回行う場合、1回目のはんだ付部が常温に戻ってから行ってください。続けて加熱しますと外郭部の変形、端子のがた、脱落および電気的特性劣化のおそれがあります。
5. プリント基板周囲、上方からフラックスがスイッチへ付着しないようにしてください。
6. スwitchを取付けた後、他の部品の接着剤硬化などのため熱硬化炉を通す場合は、当社にご相談ください。
7. スルーホールのプリント基板および推奨以外の基板をご使用される場合は、熱ストレスの影響が変化しますので、はんだ付け条件については事前に十分な確認をしてください。
8. クリック付タイプは、クリック位置ではんだ付けください。クリック中点止めされた状態ではんだ付けされますと、クリック機構部が変形することがあります。
9. 洗浄はできません。
10. 特に小形、薄形のスイッチはセット取付け工程において外力が加わらないようご注意ください。
11. 取付けねじ類の締付けには規定の強度以内で行ってください。規定以上の力で締付けますと、動作不良またはねじ部の破損の要因となります。
12. 製品本体を規定の取付け面まで挿入して水平になるように取付けてください。水平にならないまま取付けますと、動作不良の要因となります。
13. 電圧DC1V以下または電流10 μ A以下で使用しますと接触不安定となることがあります。このような用途に使用される場合は別途ご相談ください。
14. 本製品は直流の抵抗負荷を想定して設計・製造されています。その他の負荷[誘導性負荷(L)、容量性負荷(C)]でご使用される場合は、別途ご相談ください。
15. スwitch操作時に規定以上の荷重が加わるとスイッチが破損する場合があります。スイッチに規定荷重以上の力が加わらないようご注意ください。
16. 塵埃が多い環境で使用されますと、塵埃が開口部から入り接触障害や動作不良の原因となることがありますので、セット設計時に予めご配慮ください。
17. スwitchを使用するセットの周辺部材から腐食性ガスが発生しますと、接触不良などの不具合の原因になるおそれがありますので、事前に十分ご確認ください。
18. 保管方法
 - (1) 製品は納入形態のまま常温、常湿で直射日光の当たらず腐食性ガスが発生しない場所に保管し、納入から6ヶ月以内を限度としてできるだけ早くご使用ください。
 - (2) 開封後はポリ袋で外気との遮断を図り上記と同じ環境下で保管し、すみやかにご使用ください。
 - (3) 過剰な積み重ねは行わないでください。

■ 測定・試験方法

[回転トルク(作動力)]

軸(レバー)を回転(移動)するのに必要なトルク(作動力)を測定する。特に規定がない限り、周囲温度5~35℃で行い、軸の回転速度は毎秒60、レバーの移動速度は、毎秒20mmとする。

[耐電圧]

規定の箇所的交流電圧を1分間加え、アーク、焼損、絶縁破壊などの異常の有無を調べる。試験は、それぞれの端子を一括して行ってよい。特に規定がない限り、下記の箇所の試験とする。ただし、構造上導通する機構になっているものでは、その部分の試験は行わない。

[絶縁抵抗]

規定の箇所を規定の電圧の絶縁抵抗計で測定する。特に規定がない限り、下記の箇所を試験する。ただし、構造上導通する機構になっているものでは、その部分の試験は行わない。

[耐電圧と絶縁抵抗の測定箇所]

- ・ 端子と軸(レバー)との間
- ・ 端子と金属カバー(枠)との間

[押しおよび引張り強度(レバーの押しおよび引張り強度)]

軸(レバー)の軸線方向に規定の大きさの力をそれぞれ10秒間加えた後、操作部および関連部分の変形、破壊、動作状態を調べる。